

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和2年6月1日



学校だより

6月号

Email y3motois@edu.city.yokohama.jp

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

再スタート (長い休業を乗り越えて)

校長 鈴木 彰

長い…長い…本当に長い臨時休業が解除となり、やっと校庭や校舎に子どもたちの声が響く日がきました。教師になってすいぶん長い年月がたちますが、これほどまでに子どもたちの登校を楽しみにした日はないかと思えます。

大人も大変でした。生活も大変ですし、仕事も大変でした。気の遠くなるような苦労の中でやっと緊急事態宣言が解除となり、たくさんの不安と期待をもって再スタートを切ろうとしています。

しかし、子どもも大変でした。Stay Home は大人以上に厳しかったでしょう。公園で遊んで叱られてしまった子もきついているでしょう。それでも、子どもたちの中に「わたしたちの休業補償をしてください」と言う子はいません。大人の下で子どもたちは、本当に純粹で従順です。それだけに、苦労を強いたぶん、わたしたち大人のフォローがこれからますます必要になるかと思えます。今日、学校の再開とともに、子どもたちが生き生きと過ごせるように…とできるかぎりの努力を教職員一同 心を揃えて取り組んでいきたいと思えます。

臨時休業の間に、学校のポストに子どもたちからのメッセージがたくさん届きました

「すきないろ みずいろとびんく。せんせいは、なにいろがすきですか？」(1年生：一部抜粋)

「わたしは犬をかっています。だんだんトイレができるようになりました。これからも、がんばって大きくそだてていきたいです。学校がはじまったら、よろしくお願いします。」(3年生：一部抜粋)

「Good bye コロナ休校。授業、楽しみです」(6年生)

1年生の子は、まだ習っていない たどたどしいひらがなで一生懸命に書いて届けてくれました。早く学校に行きたいという気持ちがいっぱいに伝わってきました。3年生の子は、大きな紙にしっかりとした筆圧でペットの犬への愛情のこもった文章を書いて届けてくれました。愛犬「メイ」を思う心が担任の心にもあたたかく届きました。6年生の子は、「タラヨウ」という木の葉にメッセージを書いて届けてくれました。タラヨウは「葉書」の言葉の語源とも言われる木で、葉の裏にとがったもので字を書くと茶色く変色します。古来から、紙も鉛筆も必要なく、葉だけで伝えられる手紙として使われてきました。よく、この葉のことを知っているなあと感心させられました。

休みの間も子どもたちなりに「プラスになる学び」をしている姿に心を打たれました。

以前、新型インフルエンザが流行したときも大変でしたが、今、その教訓を生かしてコロナ対応をしています。今回のコロナ騒動も被害感覚ばかりをもつのではなく、何年か後に「あの苦労があったから今がある」と自身を成長させる出来事となるように子どもたちと一緒に乗り越えたいと思えます。